





はじめに

労組ポータル - N生協労組 - 部署ライブラリへの手動「パターン④」によるデータ移行で、多くのファイルが移行できないという課題が11/18に発生しました。 この事によりデータ移行作業方法について、以下のパターンでの推測される懸念点の洗い出し結果は、以下の通りです。

データ移行の作業パターンは、以下が想定されます。

1.ファイルサーバー ⇒ SPOドキュメントライブラリ

ファイルをそのままドキュメントライブラリヘデータ移行

2.NotesDB \Rightarrow SPOドキュメントライブラリ

これは、移行ツールにより、提供できる機能が異なり、ページング仕様のNotesDBは基本リスト形式での表示ですが、 ・投稿された記事への添付ファイルと拡張リッチテキスト領域に追加された添付されたファイル

- ・リスト形式をPDF化したドキュメント
- へのデータ移行が選択できます。
- 3.NotesDB \Rightarrow SPOIJスト

ページング仕様のNotesDBをリスト形式でのデータ移行

- 4 .SPオンプレ ⇒ SPオンライン
 - ・サイトのデータ移行
 - ・互換のあるリストやライブラリのデータ移行

5. SPO基盤へのデータ移行について

- (1) SPOへの移行イメージ図
- (2) NoteaDB移行用コンテンツ枠作成イメージ図
- (3) Tドライブ移行用コンテンツ枠作成イメージ図
- (4) NotesDB ⇒ 部署リスト/部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (5) Tドライブ ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (6) NotesDB:PDF化しながらデータ移行 ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (7) NotesDB ⇒ 添付ファイルの掃出し ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (8) 添付ファイル保存ツール仕様







1.ファイルサーバー ⇒ SPOドキュメントライブラリ パターン

ファイルをそのままドキュメントライブラリヘデータ移行パターンです。

	対象データ別 移行作業パターン	費用	欠点	利点
1	データ移行ツールの活用 サードパーティ社製 「Quest社、AvePoint社など)	有償	・使用コストが高い ・移行用サーバーの準備が必要 移行ツールのインストールが必要 ・ツール使用方法の理解が必要	 ・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要
2	データ移行ツールの活用 SPMT(MS社無償提供ツール) の活用	無償	・移行端末にインストールが必要 ・機能拡張の視点から、定期的にプログラムが更新	 ・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・プロキシ経由でなく圧縮転送のため移行時間が短い ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要
3	手動移行 OneDriveの活用 ファイルサーバー ⇒ OneDrive(SPO同期設定)	無償	 OneDriveの同期設定が必要 OneDriveへは手動でファイル複写作業が必要 OneDriveは個人用スペースで、セキュリティ面での管理が必要 ・同期はOneDrive仕様依存 	 ・ログは出力されない⇒移行エラー対応が不可能 ・OneDriveへのフォイル複写後、OneDriveの 同期機能なので常時監視は必要
4	手動移行 ドラック&ドロップで対応 ファイルサーバー ⇒ SPOライブラリ	無償	・一度に選択できるファイル数は制限有り ・回線(通信)状況により、複写エラーとなる場合がある	・ログは出力されない⇒移行エラー対応が不可能 ・処理中は、基本、常時監視は必要







2.NotesDB \Rightarrow SPOドキュメントライブラリ パターン

これは、移行ツールにより、提供できる機能が異なり、ページング仕様のNotesDBは基本リスト形式での表示ですが、投稿された記事への添付ファイルと拡張リッチテキスト領域に追加された添付されたファイル、リスト形式をPDF化したドキュメントへのデータ移行が選択できます。

	対象データ別 移行作業パターン	費用	欠点	利点
1	データ移行ツールの活用 サードパーティ社製 「Quest社、AvePoint社など)	有償	・使用コストが高い ・移行用サーバーの準備が必要 移行ツールのインストールが必要 ・ツール使用方法の理解が必要	 ・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要 ・Notes表示イメージでPDF出力が可能
2	Notes添付ファイル吐出しツール ⇒ MS社無償提供 データ移行ツールの活用	有償 (安価) 無償	・社内でNotes添付ファイル吐出しツールの作成 が可能(割安) 吐出し先環境の準備が必要 ・移行端末にインストールが必要 ・機能拡張の視点から、定期的にプログラムが更新	 ・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・吐出し先PCとSPO間はプロキシ経由でなく圧縮 転送のため移行時間が短い ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要
3	Notes添付ファイル吐出しツール ⇒ 手動移行 OneDriveの活用ファイルサーバー ⇒ OneDrive(SPO同期設定)	無償	 ・社内でNotes添付ファイル吐出しツールの作成 が可能(割安) ・OneDriveの同期設定が必要 ・OneDriveへは手動でファイル複写作業が必要 ・OneDriveは個人用スペースで、セキュリティ面 での管理が必要 ・同期はOneDrive仕様依存 	 ・ログは出力されない⇒移行エラー対応が不可能 ・OneDriveへのフォイル複写後、OneDriveの 同期機能なので常時監視は必要
4	Notes添付ファイル吐出しツール ⇒ 手動移行 ドラック&ドロップで 対応 ファイルサーバー ⇒ SPOライブラリ	無償	・社内でNotes添付ファイル吐出 しツールの作成が可能(割安) ・一度に選択できるファイル数は制限有り ・回線(通信)状況により、複写エラーとなる場合がある	・ログは出力されない⇒移行エラー対応が不可能 ・処理中は、基本、常時監視は必要







3.NotesDB \Rightarrow SPOリスト パターン

ページング仕様のNotesDBをリスト形式でのデータ移行パターンです。

対象データ別 移行作業パターン	費用	欠点	利点
① データ移行ツールの活用 サードパーティ社製「Quest社、 AvePoint社など)	有償	・使用コストが高い ・移行用サーバーの準備が必要 移行ツールのインストールが必要 ・ツール使用方法の理解が必要	 ・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要 ・Notes表示イメージでPDF出力が可能
② MS社無償提供ソース(オンプレ版)を オンライン版の改修したツールでの データ移行	有償 (安価)	・MS改造版「c#.Net」をコンシューマーより安価でソー ス入手し、社内で改版しツールの作成が可能(割安) CISブランドツールになる ・C#.Net開発者が必要(2週間) ・移行端末にインストールが必要 ・機能拡張の視点から、定期的にプログラムが更新	・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要

4.SPオンプレ \Rightarrow SPオンラインパターン

サイトのデータ移行、互換のあるリストやライブラリのデータ移行のパターンです。

対象データ別 移行作業パターン	費用	欠点	利点
① データ移行ツールの活用 サードパーティ社製「Quest社、 AvePoint社など)	有償	・使用コストが高い ・移行用サーバーの準備が必要 移行ツールのインストールが必要 ・ツール使用方法の理解が必要	・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要
②データ移行ツールの活用 SPMT(MS社無償提供ツール)の 活用	無償	・移行端末にインストールが必要 ・機能拡張の視点から、定期的にプログラムが更新	・ログが出力される⇒移行エラー対応が可能 ・登録日時、更新日時が移行可能 ・ユーザーマッピングが可能 ・プロキシ経由でなく圧縮転送のため移行時間が短い ・回線トラフィックを意識した夜間実行が可能であり、 処理中も常時監視は不要



SPO基盤への移行について



5. SPO基盤への移行について

SPOサイト構築で作成するコンテンツは、NotesDBデータ移行用枠とTドライブデータ移行用枠を準備する必要があります。 現在想定されているコンテンツ枠(部署リスト・武将ライブラリ、その他のリストやライブラリ)の総数は以下の通りであり、1/21迄に総べての作業を 完了するのは非現実的なので、優先順位をつけて何を何時迄にユーザーに公開していくのかの詳細スケジュールの再検討が必要です。 ① NotesDB ⇒ SPOコンテンツ枠 部門ポータル数:25、部署サイト数:222 a) 部門ポータル数:25、部署サイト数:222 コンテンツ(リストやライブラリ)作成本数:379 b) コンテンツ(リストやライブラリ)作成本数:379 ・コンテンツ枠のみ作成 ・コンテンツ枠のみ作成 ※上記コンテンツ枠は、機能追加申請方式により、「多段階承認ワークフロー」と「公開対象先設定」機能の追加対応を検討中。

- ・コンテンツ枠「個別機能や専用のワークフローの組込み版」
- ・コンテンツ枠「個別機能や専用のワークフローの組込み版」+データ移行
- ② Tドライブ ⇒ SPOコンテンツ枠
 - a) 部署ライブラリ数 : 205 NotesDB ⇒ SPOコンテンツへのデータ移行数 : ?? 容量:5TB

【イメージ目次】

- (1) SPOへの移行イメージ図
- (2) NoteaDB移行用コンテンツ枠作成イメージ図
- (3) Tドライブ移行用コンテンツ枠作成イメージ図
- (4) NotesDB⇒部署リスト/部署ライブラリデータ移行イメージ図
- (5) Tドライブ⇒部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (6) NotesDB: PDF化しながらデータ移行 ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (7) NotesDB ⇒ 添付ファイルの掃出し ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図
- (8) サイトに作成したコンテンツ(部署リスト/部署ライブラリ) へ 承認WF& 公開対象先設定機能の追加イメージ図







移行先(全体ポータル/部門ポータル/部署サイト/各種コンテンツイメージ」



(1) SPOへの移行イメージ図

「移行元イメージ」

NotesDB (11) (iii) * 商品事業 間、1合わせ掲示 板 7 YKHC01 ■営業部門ボータルサイト 320 850 168 ラブコーブ&コ ランド刷新KBB / CPINFP01 店舗営業企画 情報KBB / CPINFP01 マーケティング 部の文書管理 掲示板 / Y_ 宮業企画部の 掲示板 / YKHC03 生鮮部門の掲 示板 / YKHC01 ■商品事業のお知らせ ■ 業務アプリ・リング (**iii**) 2 (**iii**) iii) ij 14 22 69 QF 宮葉本部学習 資料KBB /YKHC02 営業本部 表示問合せ掲 示板 / CPY_ 2020~2025営 業部情報プラウ KBB / CPIN. 営業部の文書 管理掲示板 / YKHC02 宮葉企画 資料格納KBB /YKHC02 営業本部 支所問合せ掲 示板 / CPY_ **.** 共同任人 361 支所向け営業本 部の公式文書 掲示板 // 「営業本部」の 会議資料格納」 BB(2020年以 総合マネジメン ト室電子会議室 /YKHC02 商品共同仕入 企画部の掲示 板 / YKHCIL 集約専用掲示 板 / CPYM01 ■ 文書ライブラリ・リンク . (iii) ⊕ ∗≋₩ 2482 2454 CO-OP 営業部 8.44 宅記営業企画 情報KBB / CPINFP01 Notes⇒コンテンツ 会議室予約 /YKHC01 開発管理の問し 合わせ・QandA 掲示板 / C_ #85475 and a contract of the 2 ENGLIS 支所掲示板サンプル TATES 2248 1.一発数示 - 〇 8). Relative • Tドライブ . (885) 0 フォルダー⇒フォルダー ■ 関連サイト・リング 創習ライブラリ CIS議事録 B 20128-201-208 ソール類 業務報告書(ISE) ■移行パターン毎の長所・短所 揭示資料 長所:ほぼNotesDBと同じイメージで移行可能 ①NotesDB ⇒ Sp部署リスト 証跡情報等 ②NotesDB ⇒ Sp部署ライブラリ 短所:添付ファイルの属性(プロパティ)が移行されない 大塚商会の資料 ★その後、Sp部署ライブラリ⇒Tドライブ用部署ライブラリへの移行。 SPオンライン⇒SPオンラインのデータ移行ツールはない。 亜昌桂却 ③NotesDB ⇒ PDFファイル ⇒ Sp部署ライブラリ 短所:添付ファイルは単一フォルダーに格納され、同一ファイルは最後の移行されたファイル1つのみが置換格納される ④NotesDB ⇒ 添付ファイルの掃き出し ⇒ SpTドライブフォルダー仮想への部署ライブラリ 短所:添付ファイルの属性(プロパティ)が移行されない。データ移行ツールSPMT(無償)あり。 9/末迄にツールは準備予定。 https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepointmigration/introducing-the-sharepoint-migration-tool

★但し、フォルダーマッピング設定もあるので、部署の方々には荷が重すぎる。







(2) NoteaDB移行用コンテンツ枠作成イメージ図

NotesDB ⇒ 部署リスト/部署ライブラリ は、1対1とし、NotesDBのアセスメント結果により、移行先枠を準備する ※NotesDBの上段の掲示板は、基本移行対象外です。 但し、掲示板部しか使っていないNotesDBはこの限りではありません。 ※登録件数は多いNotesDBは、SPO側の複数コンテンツへの移行検討が必要です。

・標準提供されたKBBテンプレートで作成されたNotesDB「多段階WF+公開対象先設定機能の付与有り」

・標準提供されたNotesテンプレートで作成されたNotesDB

・テンプレートに固有機能を付与した専用のNotesDB

・テンプレートに固有機能と承認WFやメール配信などを付与した高度な専用のNotesDB

上記の内容を判断し、コンテンツ枠を作成する必要があります。

完配営業企業情報K88-11	M Notes							III s	SharePoint		P East	ナイトを検索					S @ ? (m)
77-1ル(F) 編集(E) 表示(V)	作成(C)	アクション(A) 1	/ール(0) ヘルプ(H)				_		CO.OR WEEKELL-CIL	今はポークル、 部門ポークル	U REHAD					671	
					-	6	CO OF MADE IN SIDE	20010 270 MILDIC 270	a martine								
<u></u>							-	0	CO-00 常業意	8							0.00
	원한 김 유민 김 유민은 우리						-			ir i							6 704
● 七配呂未正日	当16 ¥	IVBB						•	部署ライブラリ	+ 新規 -> ③ ページの	詳細 💷 分析						発行日 2022/9/6 🧷 編集 🖉
18 公開揭示物表示		第じる リンクコ	ビー・リンクメール	通信▼ 拡大表示へ			_	0									
一 大中小分類表示		2011111			R(2871 0	発信者 〇			支所提示数	まだの二に分くづく							
● ■区分表示	- 13	2022/09/0	7 2022/06/07	(注意リホード・宅店)ストロンファイテム成功単物(20010)の実施しました (企画サポート・定配)成功事例(2001月4回時公開、ました)	言果本部言果企園部刊館に回ら 常業本部営業企画部字部企画の	来原 里布丁 靈原 要全子	^		ごみ相	又同時末報リンフィ	~						9へに表示
■「書き物示書表	a. +- *	2022/08/3	1 2022/08/31	【企画サポート・宅記】成功事例22年8月3回を公開しました	営業本部営業企画部宅配企画G	栗原 亜希子		~		+ 新規 - 田 グリ	ッドビューでの場場 除	共有 🚨 Excel (C工)	クスポート			= 1.	
「小記行う指示者	<u>κ</u> π	2022/08/2	6 2022/08/26	【企画サポート・宅記】成功事例22年8月2回を公開しました	営業本部営業企画部宅配企画G	栗原 亜希子		÷	12.94								
220月95月4不得	秋 不 1	2022/08/2	2 2022/08/22	【企画サポート・宅記】成功事例22年8月1回を公開しました	営業本部営業企画部宅配企画G	栗原 亜希子											
「人ナーダ人別生	83-435	2022/08/1	0 2022/08/10	【企画サポート・宅記】ストロングアイテム成功事(例(220810≠)分更新しました 【企画サポート・宅記】ストロングアイテム成功事(例(220810≠)分更新しました)	言葉本部言葉企画部毛配企画G	東原 亜希子		N		粉紙日 ~	タイトル 〜	カテゴリ 〜	當時長 ~	文書の状態~			
1 REAXER	- 13	2022/08/1	0 2022/08/10 9 2022/08/10	12回りホード・モルコのの単例22年7月4回を公開しました。 「企業サポート」で記録は加速制の2年7月9日を公開しました。	古来小部各来に思わせれに正思い 学業本部学業の高額におっての	東京 生やす		'		2022/09/01	2022年9月度重品実	(TH)	50 47	()			
194小46、49相		2022/07/2	6 2022/07/26	【企画サポート・宅記】成功事例22年7月2回を公開しました	営業本部営業企画部下記企画の	東原亜希子		\checkmark			續 (9月6日更新)	-		-			
	- I*	2022/07/2	0 2022/07/20	【企画サポート・宅記】成功事例22年7月1回を公開しました	営業本部営業企画部宅配企画3	栗原 亜希子		·		2022/09/01	(周悟)(2022年9月 長)	(10.65 75	明田 杏子	2280			
-		2022/07/1	2 2022/07/12	【企画サポート・宅記】成功事例22年6月5回を公開しました	営業本部営業企画部宅配企画G	栗原 亜希子					9月7日開催 共同事			-			
		2022/07/1	1 2022/07/11	【企画サポート・宅配】成功事例22年6月4回を公開しました	言葉本部言葉企曲部毛配企曲G	果原 史希子				2022/08/30	第日記·冷食協議会	(35050)	初田 南子	338			
		2022/07/0	7 2022/07/07	(企画サホート・を配けたトロンファイテム版功単例:220710F)が実施しました 「企業サポート」交通型は14事例の2005年月3回5公務 ました。	言葉本部言葉に曲部毛動に通ら	東原 里希子	· · ·				(金纬) 試食サンプ						
1		2022/06/2	3 2022/06/23	「企業サポート・定定」成功事例22年6月6日が公開しました	1000000000000000000000000000000000000	東南市金子					ル通行・評価につい						
		2022/06/1	5 2022/06/15	【企画サポート・宅記】成功事例22年6月1回を公開しました	営業本部営業企画部宅配企画G	栗原 亜希子								-			
		2022/06/0	9 2022706709	【企画サポート・字記】ストロングアイテム成功画例(920610メ)分更新しました	管掌本部管掌个面部字配介面の	要原 带条子	~			2022/08/30	8/50通次MT	(余谋)	电田 善子	2288			
		-				,	-										
	12	和じる リンクコ	ピー・ リンクメール	/通信 * 「拡大表示へ」			_										
三公開文書表示(CF 1881	文書名 👌															
■大中小分類表示		300 ZH	ロンクアイテム				^			鄙者ライブラリ							すべて表示
一文書種別	- 11	E001	新石 生養王							+ 6617 7 -71-1		from the data of				7-70	7-41.0
■ 量区分表示	- I.	E102	日記・冷凍食品			_				+ #198 ° T 29		ENCEL/CITO/X01-	-			= 1,9 < 00	J74/L ° 0
回下者さ文者表示	- I+	ED 03	加工食品・菓子飲料	4				``									
回座読得ち文書表	<u>ه</u>	E 04	家庭用品							各前 ~	コメント ~	キーワード 🗸	文書の状態~	文書分類 ~	年度 ~	年月度 ~	文書種別 ~
国公開持ち又書表	a.	·····································	111日間 新聞の第二日の第二日第二日第二日第二日第二日第二日第二日の第二日の第二日の第二日の第	125			T T										
一人ナータス例至	Care:	6101		3817						20220805_168mst							
THE WEAK		B 02	東畜産							R 731							
一見る客なしの相	- I*	E 03	368														
一般人口大学	1	E104	「東京品							ニ テストフォルダ			6309		2022年間	2022年11月	
1007代表义者 1000余段之语来。	12	05	1111月1日 11月1日							TISM'S							
LLX THAT YOR O		00	1944							一一一一一一							
	- I.	E106	K庭用品							■ 東北支所 通次MT							
		10 Y	-ib				×										
	1	-				-6 103											
					• 🐼 • 🐼 • 🕷	-A •	-										

◆準備しているSPOコンテンツのテンプレート

「部署リスト」「部署トライブラリ」「規定」「FAQ」「問合せ管理」「公文書管理」「掲示板」「会議資料」 「汎用リスト」「汎用トライブラリ」「緊急のお知らせ」 ※作成した部署ライブラリなどのバージョン管理は初期値500であり、ブラウザの設定は、最小100世代となっている。 バージョン管理不要なコンテンツは、「SharePoint Designer2013]でバージョン管理無しの設定が必要。





(3) Tドライブ移行用コンテンツ枠作成イメージ図

Tドライブ ⇒ 部署ライブラリ は、任意のフォルダ指定でフォルダー配下のドキュメントを移行する目的で作成する。 フォルダー階層は、ワークで確定された3階層のEXCEL資料を基に任意ドキュメントへフォルダーを作成する 但し、移行先の部署ライブラリの作成後、フォルダー階層を作成するためのフォルダー階層をテキスト形式で準備する必要があり、 フォルダー作成はPowerShellを使っても1つのコンテンツ枠作成に要する時間は、1時間程度は必要。 ※SP標準のフォルダーの作成なので属性(プロパティ:分類や区分情報)列は、作成できませんので、ご留意ください。 ※現在想定される部署ライブラリの本数は205であるため、205時間相応の作業工数は必要となる事を留意しておく事が必要です。



●フォルダー管理ワークで検討したフォルダー階層を任意の部署ライブラリ(ドキュメントライブラリ)にフォルダーを一括で作成する手順 ①フォルダー階層の検討結果を以下の書式でテキスト形式ファイルを準備する。「例:FolderList01.txt」

フォルダー01¥

フォルダー01¥フォルダーA

フォルダー02¥フォルダーX¥フォルダーZZ

※フォルダーの区切り記号は半角「¥」とする。

②PowerShellを起動して以下のコマンドを実施します。

Get-Content |FolderList01.txt | %{ New-Item (\$_.ToString()) -ItemType Directory -Force }

※上記の「:FolderList01.txt」が先ほど作成したテキストファイルになります。





(4) NotesDB ⇒ 部署リスト/部署ライブラリ データ移行イメージ図

NotesDBの投稿した内容を前件開いて確認し、本文に文書や画像が貼り付けられていない場合のみ、部署ライブラリへの移行が可能と判断します。 これは、本文に記載された内容の欠落を防止する作業ですが、前件かの確認作業は非現実的なので、移行対象先の選定は、CISでは決定ができな いため、事務局または部署の方々にお願いする内容となります。



利点:NotesDBの表示イメージと同じ内容でSPO部署リストへの移行か可能です。 ※データ移行1回対応なので、記事の属性(プロパティ:分類や区分情報)は移行されますが、フォルダーの属性(プロパティ:分類や区分情報)は移行されません。



欠点:NotesDBの本文や属性(プロパティ:分類や区分情報)は移行したドキュメントには反映されません。







(5) Tドライブ ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図

保管しているドキュメントのSPO部署ライブラリへのデータ移行は、基本、手動での移行となります。 但し、手動での移行は、登録日時・更新日時は移行操作日時なり、登録者・更新者も移行操作された方が設定されます。 この事を回避する方法として、Microsoftの無償提供のデータ移行ツール(SPMT)を使ってデータ移行する手段がありますが、移行元と移行先のフォル ダーマッピング作業が伴うため、実務を抱えている部署の方々には荷が重すぎると推測します。

【SharePoint 移行ツールの概要 (SPMT)】

https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepointmigration/introducing-the-sharepoint-migration-tool







(6) NotesDB: PDF化しながらデータ移行 ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図

データ移行ツール「クエスト社製」の機能を使って、NotesDBの投稿データをPDF化しながら、SPO部署ライブラリヘデータ移行するイメージです。 NotesDBの掲載イメージはPDF化でほぼ類似した書式で作成されましが、添付ファイルは別のドキュメントライブラリへ出力されますが、 NotesDBに添付したファイル名で同名がある場合は、最後に移行したファイルに置換される事になるため、留意しての活用をお勧めします。

	ePoint
9	▲ 【複製】移行イメージ用確認サイト 時行ィメージ確認用サイト 情報ブラザブログリスト ごみ箱 編集 …
#	+ 新規 ∨ 🕴 アップロード ∨ 目 グリッドビューでの編集 🔒 同時 😳 OneDrive へのショートカットの追加 … 💿 すべてのドキュメンド ∨ 🖓 🔘 🦯
	PDF移行検証 ▲
C	□ 名前: ◇ コメント(説明) ◇ 文書の状態 ◇ 大分類1 ◇ 中分類2 ◇
	😞 co 共通.pdf
Ð	🔒 01.取引申請 運用フロー・作業手播者(手続き開始時に必ず確認して下さい).pdf
	🔒 01. 取引申請(マニュアル、選求、マスタ申請罪)。poif
	Q2. 採墨くん (マニュアル) pdf
	Q2取引申請 定該、企業億用調查依頼マニュアル pdf
	3.【新規取引開始にあたって】 尿調申請前に取引予定企業に渡す面積.pdf
	🔒 04.反社チェックシート(新規取引申請前に対応が必要です)pdf
	O5.取引申請マスタ申請言フォーマットマスタ申請マニュアルpdf
	🔁 07 各種業務マニュアル(ま式、マスタ申請書).pdf
	1. 採着くん(採着管理システム)マニュアル pdf
	🔒 2 ワークスペースに「採着くん」のアイコンが表示されない場合 pdf
::: э	
~	
6	
⇔	【複製】移行イメージ用確認サイト 移行イメージ構造用サイト (情報プラガブログリスト ごみ福 編集
6 0 00 0	【複製】移行イメージ用確認サイト 移行イメージ細胞用サイト 像和プラザブロクリスト ごみ福 編集
6) (†) (†) (†)	【22数】移行イメージ用確認サイト 移行イメージ構築用サイト 像和プラザブロのリスト ごみ箱 編集
6 0 0	【複数】移行イメージ用確認サイト 核行イメージ構築用サイト 像和プラサプロのリスト ごみ箱 遮然 ★ 筋肉 ✓ 田 グリッドビューでの補累 ④ 新く ✓ ピ 共有 ゆ リンクをコピー … ※ 1 個のアイアムを追回済み 戸 すべてのドキュメンド ✓ ▽ ○ ✓ PDF移行検証 添付ファイル > ftdDocMgSubject ③ 6前 ~ コメント(原物) ~ 文書の状態 ~ 大分類 ~ 中分類2 ④ 6〕(次灯)取得申請フロー_20210405.xts ピ :
 	【観教】移行イメージ用確認サイト 核行イメージ相互用サイト 像和プラサプロのリスト ごみ箱 遮然 ● 新成 ◇ 田 グリッドビューでの補累 ④ 減く ◇ ピ 共有 � リンクをコピー … × × 1 個のアイテムを追回済み 戸 すべてのドキュメンド ◇ ◇ ◇ ● FIF行技証 添付ファイル > fidDocMgSubject ● 新本 ◇ コメント(編明) ◇ 文書の状態 ◇ 大分知 ◇ ● (2017) 取引申請フロー_2021045 点 ピ : ● (商品原当明) 形式先マスターメンテ申読ガイド (商品本部) 点
	【複数】移行イメージ用確認サイト 核行イメージ構造用サイト 像和プラサプロのリスト ごみ箱 進載 ★ 筋肉 ◇ 目 クリッドビューでの構用 ① 刻く ◇ ピ 共有 ゆ リンクをコピー … ※ 1 個のアイテムを追回済み 戸 すべてのドキュメンド ◇ ◇ ◇ ◇ PDF移行検証 添付ファイル > ftdDocMgSubject ③ 名前 ◇ コメント(編制) ◇ 文章の状態 ◇ 大分類1 ◇ 中分類2 ④ (2017)物理単類フロー 2020405.xis ピ : ● (2017)物理単類フロー 2020405.xis ピ :
	【複数】移行イメージ用確認サイト 核行イメージ構築用サイト 像和プラサプロのリンスト ごみ箱 進載 ● (複数)移行イメージ用確認サイト 核行イメージ構築用サイト 像和プラサプロのリンスト ごみ箱 進載 ● 節 (シッドビューでの構築 ● 減く > ピ 共有 ゆ リンクをコビー … × 1 個のアイテムを温囲読み 戸 すべてのドキュメント > マ ○ マ ○ アレド移行検証 添付ファイル > fdDoorMgSubject ● (2017)教育申請プロー_2020405.45 ビ : ● (2017)教育書(2016.75 ビ : ● (2017)教育申請 (2016.75 ビ : ● (2017)教育申請 (2016.75 ビ : ● (2017)教育 (2016.75 ビ :
	【独教】移行イメージ用確認サイト 核行メージ相応用サイト 像和プラサびつのリンスト ごみ箱 進載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	【独教】移行イメージ用確認サイト 核行メージ相関サイト 像和プラサびつのリンスト ごみ箱 進載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	【独教】移行イメージ用確認サイト 核行メージ相関サイト 像和プラサプロのリンスト ごみ箱 進載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 ♠ ● ● ● ● 	【独教】移行イメージ用確認サイト 核行メージ相応用サイト 像和プラサびつのリンスト ごみ箱 進載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	【独教】移行イメージ用確認サイト 核行イメージ確認用サイト 像セブラサブロのリンス ごみ福 雑魚
	 【独創 移行イメージ用確認サイト 核行イメージ確認用サイト 像セブラサブロのリンス ごみ箱 雑魚 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・







(7) NotesDB ⇒ 添付ファイルの掃出し ⇒ 部署ライブラリ データ移行イメージ図

NotesDBの添付ファイルをTドライブ用部署ライブラリへ移行目的で、作業PC上などの任意フォルダーに添付ファイルを吐出し機能をNotes側で準備し その吐き出したファイルをSPO部署ライブラリへのデータ移行する方法で、基本、手動での移行となります。

但し、手動での移行は、登録日時・更新日時は移行操作日時なり、登録者・更新者も移行操作された方が設定されます。

この手動方法に回避策として、Microsoftの無償提供のデータ移行ツール(SPMT)を使ってデータ移行する手段がありますが、移行元と移行先のフォルダーマッピング作業が伴うため、実務を抱えている部署の方々には荷が重すぎると推測します。

【SharePoint 移行ツールの概要 (SPMT)】

https://docs.microsoft.com/ja-jp/sharepointmigration/introducing-the-sharepoint-migration-tool









(8) 添付ファイル保存ツール仕様

◆データベース構成と、保存先フォルダについて









添付ファイル保存ツール仕様 – 前ページからの続き

◆文書毎のフォルダ保存

対象文書は、公開文書表示ビューの「フォルダ」「サブフォルダ」「文書管理」文書となります。

KBB揭示板6			
■公開掲示物表示	[閉じる] [掲示物作成] [リンクコピーマ] リンクメール送信マ] 拡大表示へ]		
- 大中小分類表示			
■ 区分表示			
■1 T 香ご掲示 御表示 ■ そうは + 相二 4 + = 二			
■単記符ち掲示欄表示			
		> Windows10Upgrade ^ 名前	更新日時
■人丁 マノ 加工 拘示 初表 オ		V Work	
一単記状況表示		20000014	このフォルダーは空
		🔹 🔰 🔍 🔍 フォルダ名1 データベース名フォル	ルダの下
		◇ 🔄 サフフォルタュー1 (「ビュートの階層)	角りに文
■公開文書表示 ^	開 3 新祖文書作成 [リンクマーマ リンクマール送信マ 拉太表示へ	サブフォルダ1-1-1 単毎のフォルダを作	
■公開又者表示し亚の農社	文書名 ☆		
一大中小分類表示	■フォルダ名1		
■文書種別	コリフノオルタイト1 サブフェルガ1-1-1	▼ Jオルダ名2	
■ 区分表示	文書1-1-1	サブフォルダ2-1	
同下書き文書表示	■フォルダ名2	◇ 🔄 フォルダ名3	
■承認待ち文書表示	サブフォルダ2-1	サブフォルダ3-1	
■公開待ち文書表示	¹ 3フォルダ名3	KBB揭示板A	
1111111111111111111111111111111111111	9.77a/v93=1		
一承認状況表示		KBB拖示彼B	







添付ファイル保存ツール仕様 – 前ページからの続き

◆各文書の添付ファイル取得について









添付ファイル保存ツール仕様 – 前ページからの続き

◆データベースの画面





移行・リリースに向けた方針説明会の感想



説明される方々の話は解りやすかったのですが、資料が漠然的であったためか、説明系のチャットでも上がっていましたが、やはり、

- ・SharePointとはの理解が浅く、用語「サイト、リスト、ライブラリ、承認の要求など」がどういう物かよく解らない ⇒サイト管理者向けの教育(マニュアルなどの準備、勉強会や説明会の開催)の検討(木本さん、浅香さん)
- ・「Tドライブ」や「Notesの添付ファイル」のSPOへの手動移行は、事務方の実業務と平行作業の実施は現実的なのか。
- ・部門単位に数名にて「OneDrive」同期によるファイルのアップロードとしているが、上長から実務を考慮した作業依頼が必要
- ⇒限定した方々だけの作業でないとセキュリティ面で課題有り(木本さん) ※移行元FSにadmin権限に付与が必要
- ・ツールなどでの直接移行をCISに依頼できないのか? ⇒セキュリティ面、リソース面で課題有り(木本さん)※移行元FSにadmin権限に付与が必要

【事務方の作業概要】

①移行ファイルの選定

⇒更新日時が直近数年間の物、永年保存しなければいけない物、古い物でも頻繁に閲覧する必要なファイルなどの選定 ②選定したファイルの移行先の確定

⇒選定したフォルダー(ファイル)を、どの部署ライブラリのどのフォルダーへ移行するのか一覧の作成

※このマッピング作業は、「Tドライブ」、「Notesの添付ファイル」が対象の一覧

③移行作業

- ⇒「Tドライブ」のファイルは「②」で作成した一覧に従い、「OneDrive」へ複写
 - ★【参考】②で作成した一覧が有れば、MS推奨SPMTのデータ移行時にマッピング設定をすれば応可能

マッピング設定も上記一覧よりSPMT用に生成が可能でミスや漏れの無いデータ移行が可能 ⇒「Notes」の添付ファイルは吐出しツールにて、作業PCの作業フォルダーへ出力

- 出力したファイルで不要なファイルの削除(アイコンファイルなど)
- 不要ファイル削除後に、「②」で作成した一覧に従い、「OneDrive」へ複写
- ★【参考】②で作成した一覧が有れば、データ移行時にマッピング設定をすればMS推奨SPMTで対応可能

マッピング設定も上記一覧よりSPMT用に生成が可能でミスや漏れの無いデータ移行が可能 ※【懸念点】手動移行はツールでの移行とは異なり、データ移行ログが取得できないため、あくまで目視での確認になる